

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2004/06/19 Vol. 31 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会/平成 16 年第 2 回定例会報告 (1)

いつもお世話になっております。印西市議会第 2 回定例会 (6 月議会) は、6 月 16 日 (水) までの会期にて行われ、現在休会中です。今回は、6 月議会での私からの一般質問、市執行部からの回答を中心にご報告していきたいと思っております。

6/3 (木曜日) に、代表質問に立ちました。

以下、市当局の回答です。

2. 高齢者保健福祉施策と介護保健サービスの推進について

印西市では高齢社会の将来像について「いきいき あんしん 生涯現役のまち」を掲げ、施策を行っているようだが、市民の思いは充分伝わっているだろうか。

(1) 住宅改造費の助成について

助成対象者の拡大と助成金額の拡大について、どのように考えているのか。
高齢者福祉施策に掲げる、特色ある助成制度にすることは可能か。

(回答 / 市長)

現在、介護保険制度で上限額が 20 万円、そのうちの 9 割分を介護保険の給付費で負担するものと、市単独の事業としまして、上限額を 50 万円とし、住宅改造費から介護保険の給付の対象となる額を控除し、その額の 2 分の 1 を助成しているところでございます。

なお、助成対象者、助成金額の拡大及び特色ある助成制度にすることにつきましては、現在実施しているサービスを十分に分析し、助成対象者を介護保険の認定者以外の方まで拡大する等、今後、研究して参りたいと考えております。

(ぐんじとしのりより 市民のみなさまへ / 解説)

わかりづらい回答なので、以下に再掲します。

- * 介護保険制度として (上限 20 万円 / 9 割分を介護保険の給付費で負担)
- 手すりの取り付けや段差解消などの小規模な住宅改修に係る費用を支給するサービス。
- * 市の単独事業として (高齢者福祉施策として)
(上限 50 万円 / 住宅改造費から介護保険の給付の対象となる額を控除し、その額の 2 分の 1 を助成)
- 介護保険の要介護認定で認定を受けた方を対象に、介護保険に加えて助成。
現在、居住している住宅の居室、便所、玄関、階段、台所、廊下などの改造が対象で、介護保険の住宅改修費の支給を優先し、残りの部分を一定額を助成します。

+ + 今後は、助成対象者を介護保険の認定者以外の方まで拡大するを施策の方向としています。

この 2 つが現在の助成制度となっております。

印西市では高齢社会の将来像について「いきいき あんしん 生涯現役のまち」を掲げています。これは何を意味するのでしょうか？「生涯現役」とはどのようなことでしょうか？

仮に要介護状態になってしまったら、生涯現役とはいえないと思います。
要支援ではいかがでしょうか？ やはり生涯現役であるというのは、難しいと思います。

今回の質問を通じて、私は、健康で暮らしたいと思っている方が、特に住宅問題について、
お住まいの地域で安心して暮らせるために、印西市は何ができるのですか？
施策としてやっておかなくてはならないことは何でしょうか？

このようなことを聞きたいと思いました。

印西市では現在は高齢化率が県内でも低い部類に入りますが、今後 10 年で一気に高齢化が進みます。
その時に、元気なお年寄りとして、この印西市で活躍してもらう為に、ご自身の家や地域で安心して
暮らしていただくために何が必要か。印西市に対しては、転倒等で要介護状態となることを防ぐ為に
も、「介護状態になることを予防するような住宅改修への支援が早急に必要なのではないでしょうか」
ということを申し上げました。最初の回答では、

助成対象者を介護保険の認定者以外の方まで拡大する等、今後、研究して参りたいと回答をいただきましたが、10年後、20年後の印西のために、今、考えて欲しいという訴えました。

また、現在の印西市では、高齢者向けの住宅改修・住宅改築をはじめ、住宅に関する全般的な
相談窓口については、例えば、高齢者が介護状態かどうかによって窓口が違うというのが事実です。
(保健福祉部 / 介護保険課、都市建設部 / 都市整備課)

- 私は以前より、住宅問題を取り扱う専門の部署の必要性を伝えてきました。

今回の質問を通して、印西市の高齢者への住宅支援についての方策をお聞きしてきましたが、
市からの回答は十分なものとは考えられません。

私は、「高齢者の住宅・住環境をめぐる課題」には以下の 3 点があると考え、今後、市に対して
「課題の整理を行っていくこと、また問題解決には何をすべきか」をしっかりと考え、早急に対処して
いくことを訴えて行きたいと思います。

- **高齢社会に対応した住宅施策の推進**
(マンションに住む高齢者の増加に伴い、マンションの老朽化や設備改善策が必要になって
来ると考えています。生産年齢人口が高く、比較的活力のある現在のうちからさまざまな
取り組みが必要急務です。)
- **福祉的視点からの住宅施策の推進**
(ひとりぐらし高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、在宅ケアの充実や、高齢者の為の
専用住宅の整備など高齢者の方が地域のなかで安心して暮らせるようにすることが
必要だと考えます。)
- **高齢者のための住環境整備**
(住宅だけではなく、屋外の住環境についても全ての人たちにとって優しいまちづくりを
推進していくことが必要だと考えます。)

6/20 (日曜日) 印西市長選 公開討論会が予定されています。

中央駅前センターにて、以下の要項で開催されます。

開催日時 04/06/20(日) 14:00 ~ 16:00

主催団体 印西市長選の立候補予定者に政策をきく会 / 代表 水口淑恵

問い合わせ先 0476-47-1549

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、
ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたく
と思います。よろしくお願い致します。 ぐんじとしのり